

# 令和3年度 冬季休業期間中の家庭学習の取り組み

教務部 学力向上推進担当

## 1. 夏季休業の学習結果

### (1) 学習時間 (14日間)

学年	目標時間	学習時間	冬季達成率	今年度夏季達成率	今年度春季達成率
1年生	28時間	33.3時間	118.8%	101.8%	
2年生	42時間	35.7時間	85.1%	86.6%	83.3%
3年生	56時間	86.4時間	145.9%	134.6%	84.1%

### (2) 明けテスト

学年	国語	数学	英語	社会	理科	冬季平均	今年度夏季平均	今年度春季平均
1年生	74	66	81	61	73	71	66.2	
2年生	63	77	79	49	82	69	59.8	70.1
3年生	85	79	53	74	83	74	64.4	60.8

青字は5ポイント以上の上昇 赤字は5ポイント以上の低下

## 2. 認定者

【認定者数】 1年生24名 2年生8名 3年生20名

### 認定基準

- (1) 学習時間の到達80% (1日あたり学年+1時間を基準)
- (2) 明けテスト各教科にて達成率80%の両方を満たすこと。

※ 合格者については、2/7(月)全校朝礼での発表と認定証を授与します。

## 3. 結果の分析

- (1) 1年生は目標の学習時間を継続して達成できた。英語の明けテスト結果は大幅に上昇した。前回同様の英単語のテストであったが、事前にプレテストを実施し、学習しやすい環境を整えたことが上昇の要因と考えられる。成果につながる学習方法について実践を通して学ばせていくことが、学力向上において重要なプロセスであると再確認できた。進級に向けて、学年+1時間の意識を高めること、各教科の学習方法を固めることを大切にして、家庭学習に取り組んでほしい。
- (2) 2年生は前回に続き、学習時間の目標を達成できなかった。「3年生になってからやる」ではなく今から学習時間を増やす取り組みを意図的に進めてほしい。明けテストは前回に比べ社会科が10ポイント以上上昇した。しかし、出題範囲がわかっている目標達成率80%であるテストであることを再確認し、目標達成に必要な学習時間・方法を点検してほしい。
- (3) 3年生は学習目標時間の平均が140%を超える達成度となっており、受験直前の追い込みに取り組んでいる様子がうかがえる。明けテストの平均は10ポイント上昇したが、英語の達成率が年間を通じて低く、学年全体の課題となっている。英文読解やコミュニケーションの基本は単語力であるため、重点的に学習に取り組み、基礎的な学力を向上させてほしい。